

建築・新しい仕事のかたち

「箱の産業」から「場の産業」へ

2015年

松村秀一（東京大学）

【人口当たり住宅総数】

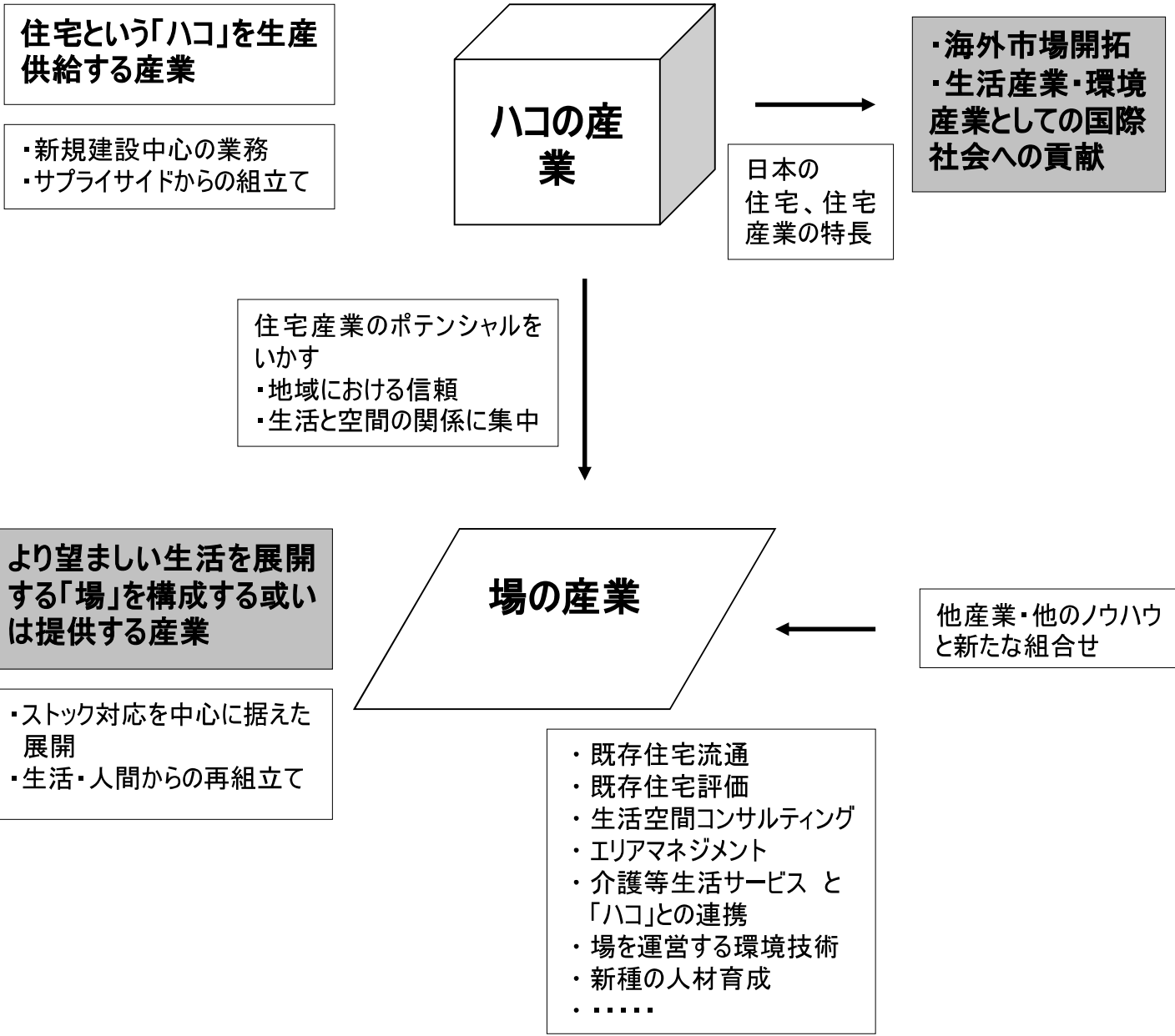
USA 0.42戸／人(2010年)

日本 0.48戸／人(2013年)

【住宅取得での中古住宅割合】

USA 77.6%(2006年)

日本 13.5%(2008年)



1 生活する場から発想する — 利用の構想力 —

廃校をアートセンターへ (3331アート千代田): 2013年80万人

(写真提供: 3331アート千代田)



2 空間資源を発見する

空間資源の例ー築50年を超えた団地「たまむすびテラス」



3 空間資源の短所を補い 長所を伸ばす

空間資源の短所を補う 今日の要求水準への適合 (↓ 青木茂さんのリファイン建築の例)



写真提供 左:青木茂建築工房 右:イメージグラム

4 空間資源を「場」化する



↑ **アーツ千代田3331の「場」化** (写真提供: 3331アート千代田)
↓ **冷泉荘の「主」と自己組織化**



5 人と場を出会わせる

誘うメディア と まち歩き＝空き家見学会



写真提供:(株) MY ROOM



長野門前町の古い町屋等に次々と埋め込まれる新しい暮らしと仕事
(写真提供 左上下:株)MYROOM、右下:まちなみカントリープレス)